

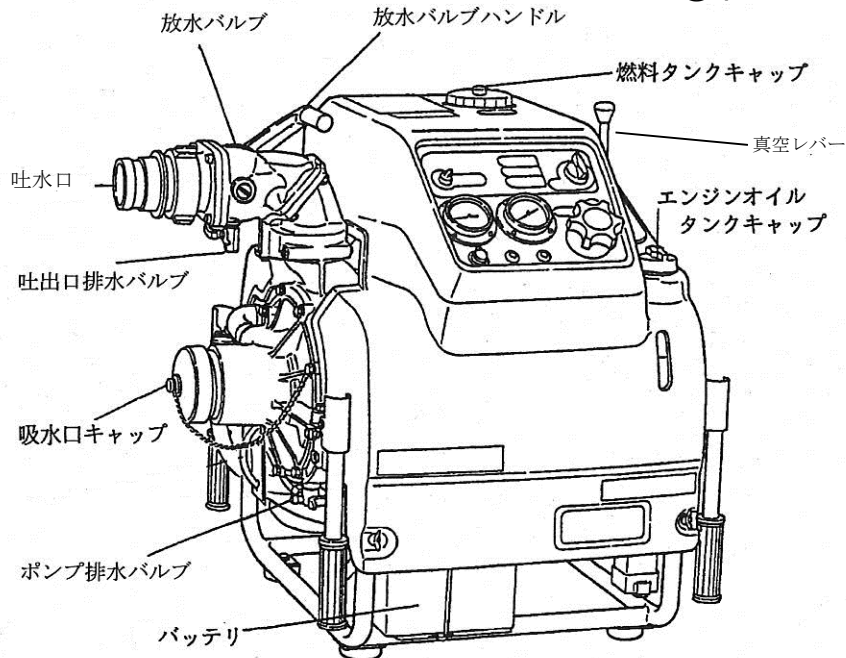
小型動力ポンプ 点検要領

始動前の確認又は点検事項

- ・燃料残量(キャップを開けて確認)
- ・2サイクルオイル残量
- ・バッテリー液面(密閉型を除く)
- ・各バルブ及びレバーの作動確認
- ・外観の損傷等の点検
- ・燃料、オイル漏れ等の確認
- ・リコイルスターターの引き具合
- ・真空レバーの引き具合 など

始動点検要領

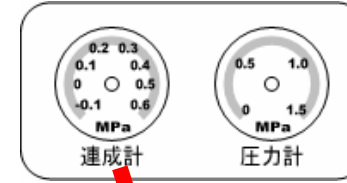
- ①各バルブ⇒閉める
- ②吸水口キャップ⇒閉める
- ③燃料コック⇒開く
- ④エンジン始動
- ⑤真空レバー 引く(約5秒)
- ⑥エンジン停止
- ⑦連成計確認=別図参照
- ⑧燃料コック⇒閉める
- ⑨各バルブ⇒開ける



上記図柄は例として掲載しています
ポンプにより位置が異なる場合があります。

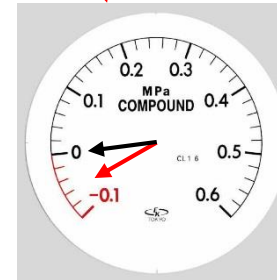
別図

真空レバーを引いた時の連成計の作動



通常時は連成計指針は0を指しています
★真空レバーを引くと
指針はマイナス方向に下がります
概ね-0.5以下まで下がることを確認
(指針は黒の位置から
赤の位置に変わる)

拡大図



吸水が可能と判断できます

各バルブを開けて連成計が「0」に
なるのを確認してください。

【注】

指針がすぐに0に戻る場合
⇒コックが開いている
吸水口キャップが緩んでいる
などが考えられます。
再度確認し、手順に従い点検

◆注意事項◆

- ・この点検要領は、ポンプを車両より降ろさずに2名で行なう方法です。
- ・始動する時はポンプ周辺に可燃物を置かないこと。